



「北方領土福島県民会議通信」では、北方領土返還要求運動に取り組む福島県民会議の主な活動の様子について紹介しています。北方領土問題について、ひとりひとりが関心を深めることで、北方領土の早期返還を実現させましょう！

## 令和元年度北方領土に関する標語・キャッチコピーについて

(独)北方領土問題対策協会では、毎年、北方領土について広く国民に認識してもらい、北方領土返還要求の世論を喚起するため、標語・キャッチコピーを募集しています。

今年度の募集では昨年度を大きく上回る10,896作品の応募があり、選考の結果、以下のとおり入選作品が決定しました。

**最優秀賞** 「返還へ 未来志向の 対話と交流」 杉本 湘路 (神奈川県川崎市)

**優秀賞** 「今度こそ 四島(しま)よ帰れよ 新時代」 小野沢竹次 (長野県飯山市)  
ほか3名

**佳作** 「四島(しま)問題 他人事から 自分事」 中静 憲夫 (新潟県長岡市)  
ほか4名

## 北方領土ゼミナール 【令和元年9月3日～6日】

本事業は、大学生等を対象に、北方領土問題を正しく理解してもらい、返還運動の後継者を育成することを目的に、(独)北方領土問題対策協会の主催で実施されました。本県からは福島大学の学生2名が参加し、納沙布岬からの北方領土視察や元島民による講話等により理解を深め、「SNSによる北方領土の情報発信について」をテーマにグループワークが行われました。

なお、(独)北方領土問題対策協会では北方領土イメージキャラクター「エリカちゃん」のマスコットを活用し、SNS(Twitter、Facebook)にて情報発信することで全国各地における要求運動の取組みを「見える化」しています。本県の取組みも随時掲載されておりますので、ぜひご覧になってみてください。

(写真：(独)北方領土問題対策協会)



納沙布岬からの眺め



グループワークの様子

## 北方四島教育関係者・青少年訪問事業 【令和元年9月7日～10日】

本事業は、各島に在住するロシア人との交流を図ることで北方領土問題の解決促進に資することを目的としたもので、(独)北方領土問題対策協会の主催で実施されました。

訪問団は全国の教育関係者、青少年（中学生、高校生）を中心に総勢65名で編成され、本県から教育関係者として大木 修校長（桑折町立醸芳中学校）が参加し、国後島を訪問しました。

団員たちは、日本人墓地の墓参、島内視察（幼稚園、スポーツ健康施設、ロシア正教会、図書館、博物館等）、ホームビジット、住民交流会などの視察や体験を通して相互理解を深めました。  
(写真：(独)北方領土問題対策協会)



教育関係者とロシア人との茶話会



ロウソク岩（悪魔の指）

## 北方領土返還要求中央アピール行進 【令和元年12月1日】

北方領土問題に対する国民世論の喚起高揚を図ることを目的に、東京都八重洲周辺においてアピール行進が実施されました。日比谷大音楽堂で行われた出発式には、衛藤北方対策大臣らが出席し、参加者を激励するとともに、「我が国は、北方領土問題を解決して日露平和条約を締結するという一貫した基本方針の下、粘り強く外交交渉に取り組んでいます。私も北方対策担当大臣として、引き続き、国民世論の啓発、北方四島住民との相互理解の増進に寄与する交流事業の円滑な実施及び元島民の方々への援護等に全力で取り組み、外交交渉を強力に後押ししてまいります所存であります。」と決意を伝えました。

全国各地から約100団体、総勢500名を超える参加があり、国民の総意の証として全国47都道府県旗を一堂に集結し、昨年度は取りやめた「北方領土を返せ！」などのシュプレヒコールを上げながら、熱意あふれる行進をしました。本県民会議からは4名が参加し、福島県旗を掲げて行進しました。



北方領土返還を呼びかけながら行進する参加者

## 北方領土パネル展 【令和2年2月4日～7日】

2月の「北方領土返還運動全国強調月間」に合わせて、2月4日～5日にコラッセふくしま（福島市）及び6日～7日に福島県庁において「北方領土パネル展」を開催し、北方領土の歴史や自然などを紹介するパネルを展示したほか、パンフレットや啓発グッズ（ボールペン、クリアファイル等）を配布しました。コラッセふくしま会場ではクイズラリーを実施し、北海道道東産の歯舞昆布を両日先着50名の方にプレゼントしましたが、お昼過ぎには用意していた昆布がなくなるほど、多くの方に来場していただきました。来場者からは、「面積や距離の比較は初めて見ましたが、ためになりました」や「早く返還が実現すると良い」等の感想が寄せられました。

### ☆歯舞昆布☆

寒流の影響から発育が良く、昆布の旨味成分であるマンニト（表面に付着する白い粉）が豊富で、奥深い味わいが特徴です！



北方領土イメージキャラクターのエリカちゃん

## 北方領土返還要求全国大会 【令和2年2月7日】

本大会は、官民の関係者が一堂に会し、北方領土返還要求運動が一層幅広く発展することを願うとともに、北方領土の早期返還を求める固い決意を内外に表明するものとして、昭和56年以来、毎年2月7日の「北方領土の日」に東京都で開催されています。国立劇場で開催された本大会には、本県から6名（県関係者2名、県民会議4名）が参加しました。

出席した安倍内閣総理大臣からは、北方領土問題の解決に向けて次のとおり挨拶がありました。

「一昨年、シンガポールで合意した「1956年共同宣言を基礎として平和条約交渉を加速させる。」との方針の下、昨年9月、プーチン大統領との間で、未来志向で作業を進めることを改めて確認いたしました。双方が受け入れられる解決策を見つけるための共同作業を精力的に進め、交渉を一步一步、皆様と心をつなげて、着実に前進させる考えであります。」

### ☆北方領土の日☆

1855年2月7日に、日魯通好条約（両国間の国境を択捉島とウルップ島の間に定めた）が調印されました。この歴史の事実を重んじ、政府は1981年に北方四島が平和友好裡に返還されることを念じ、2月7日を北方領土の日と制定しました。



挨拶する安倍総理大臣

## 北方領土返還運動全国強調月間 【令和2年2月】

2月は「北方領土返還運動全国強調月間」です。2月7日の「北方領土の日」を中心に全国各地で積極的な返還要求運動が展開されました。

本県民会議では、福島市におけるパネル展、県内4市（福島、郡山、いわき、会津若松）の路線バスのフロントマスク啓発広告、県内主要駅（JR福島駅、郡山駅、会津若松駅、いわき駅、新白河駅）におけるポスターの掲示、福島交通飯坂線車内における中吊り広告などを実施して、運動への理解と参加を広く呼びかけました。

また、2月7日の「北方領土の日」を周知するために、2月6～7日には県内全域でラジオスポットCMを放送しました。

→  
県内主要駅に掲示したポスターデザイン  
令和元年度「北方領土の日」ポスターコンテスト  
（北海道庁主催）最優秀賞受賞作品



## 令和元年度北方領土に関する全国スピーチコンテスト 【令和2年2月22日】

このスピーチコンテストは、次代を担う若い世代（対象：中学生）が北方領土問題を身近な問題として捉え、この問題に関心を持ち、北方領土に関する歴史等を正しく理解することをねらいとし、より一層の北方領土教育の充実と強化を図ることを目的として、平成23年度から実施されています。

今年度は全国から6,000件を超える応募があり、第1次・第2次選考（書面）を通過した応募者10名が、2月22日に東京都内で開催された最終選考会においてスピーチ発表を行い、審査委員の投票により内閣府特命担当大臣賞など各賞が決定されました。

残念ながら本県の受賞者はありませんでしたが、応募いただいた皆さま、ありがとうございました。

若い世代の声は返還要求運動の大きな力となります。

こうした世代が北方領土問題に関心を持ってもらえるよう本県民会議では活動を続けてまいります。

（写真：（独）北方領土問題対策協会）



最終選考会記念写真

【編集・発行】

北方領土返還要求運動福島県民会議

事務局：〒960-8670 福島市杉妻町2-16（福島県総務部県民広聴室内）

TEL：024-521-7013 Fax：024-521-7934 Mail：koucho@pref.fukushima.lg.jp



北方領土イメージキャラクター  
「エリカちゃん」、「エリオくん」